

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0186
				2018/9/7
調整後保管日時		2018年9月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月14日		(金)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	G6、H6北、B、タンクエリア					2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/6	測定者		測定器名	ICW(BL)	管理番号	F1-ICWBL-5	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	金属ガラ	①	②	③	5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2					m <sup>3</sup>			
	3					m <sup>3</sup>			
4					m <sup>3</sup>				
5					m <sup>3</sup>				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/14 9:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	小口工事					
	発生場所	化学分析棟 機械室			2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6
	作業主管G	建築保全・総括グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/9/6	測定者		測定器名	NaIシンチレーション	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
	1	Vベルト	C 01	D A	0.1 m <sup>2</sup>	0.1 $\mu$ Sv/h	0.1 $\mu$ Sv/h
	2	ベアリング	B 01	D A	0.1 m <sup>2</sup>	0.1 $\mu$ Sv/h	0.1 $\mu$ Sv/h
	3	段ボール・紙・ウエス	A 01	D B	0.02 m <sup>2</sup>	0.1 $\mu$ Sv/h	0.1 $\mu$ Sv/h
	4	可燃物その他	A 04	D B	0.01 m <sup>2</sup>	0.1 $\mu$ Sv/h	0.1 $\mu$ Sv/h
	5				m <sup>2</sup>		
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0188
				2018/9/7
調整後保管日時		2018年9月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICW	F1-ICW-082
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Vベルト	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 10:00	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ベアリング ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/9/14 10:05	0.2 m <sup>2</sup>			2
	3	1	段ボール・紙・ウエス	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 10:00	0.05 m <sup>2</sup>			1
	4	1	可燃物その他	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 10:00	0.01 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0022	
作業主管理	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	処理水バフファタンク取替設工事									
	発生場所	処理水バフファタンクエリア内(GK-19)					2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	F1-ICWBL-114	
	G	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
記入欄	1	コンクリートガラ(有筋)	B	02	D	A	15 m <sup>2</sup>	40 $\mu$ Sv/h	50 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	10t車×3台										

  

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
実 績 記 入 欄	1	1	コンクリートガラ(有筋) ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/9/13 9:15	4 m <sup>2</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ(有筋) ①	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアC	2018/9/13 9:20	4 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月13日	(木)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	処理水バフファタンク取替設工事																		
	発生場所	処理水バフファタンクエリア内(GK-19)			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10													
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL														
	元請会社			担当者		TEL														
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 F1-ICWBL-114													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃物その他	B						10	D	A	2	m <sup>3</sup>	40	$\mu$ Sv/h	50	$\mu$ Sv/h	無	
		2											m <sup>3</sup>							
		3											m <sup>3</sup>							
		4											m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0192
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/13 10:50	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	8:00	承認	審査	作成							
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(平成30年度)													
	発生場所	A・K系排水路(GH-26 北西)					2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10						
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
線量測定年月日	2018/9/4	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③											
	1	可燃物その他(草・落葉)	A	04	W	A	5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.015	mSv/h	無		
	2							m <sup>2</sup>							
3							m <sup>2</sup>								
4							m <sup>2</sup>								
5							m <sup>2</sup>								
注:	$\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。														
回収															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0193
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草・落葉)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 8:10	5.4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013107 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(平成30年度)									
	発生場所	K系排水路(建屋廻り暗渠)			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10				
	作業主管G	土木保全・総括グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/6/15	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-120				
	No.	※カテゴリー			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	土砂類	B	04	W	A	8 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0194
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月14日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-082
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/9/14 8:50	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月13日	(木)	10:00	承認	審査	作成														
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																			
	発生場所	H6タンクエリア			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10														
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL																
	元請会社			担当者	TEL																
	線量測定年月日	2018/8/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号														
							1F-ICWBL-14														
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
		①	②	③																	
		1	金属ガラ	B						01	D	A	17	m <sup>2</sup>	10	$\mu$ Sv/h	0.2	mSv/h	$\beta$ 有	1	mSv/h
		2	不燃物その他	B						10	D	A	1	m <sup>2</sup>	10	$\mu$ Sv/h	0.2	mSv/h	$\beta$ 有	1	mSv/h
		3																			
		4																			
5																					
メ モ キヤスクNo.78 No.81 No.82																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0196
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h						
1	1		金属ガラ	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/13 10:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-01468	1
1	2		金属ガラ	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/13 10:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-01464	1
2	1		不燃物その他	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/13 10:20	6 m <sup>2</sup>		ZK-01469	1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ  
上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	平成28年度消防設備保守点検業務委託										
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫						2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10		
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者			測定器名	β、γ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-140		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	CO2ボンベ(空)			B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2								m <sup>3</sup>				
3								m <sup>3</sup>				
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0203
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	CO2ボンベ(空) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/13 10:10	6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0012

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	平成28年度消防設備保守点検業務委託						
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10	
	作業主管G	建築保全・総括グループ		監理員	TEL			
	元請会社			担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者		測定器名	β、γ用電離箱		
						管理番号		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			β・α 汚染の 有無	
	1	CO2ボンベ(空)	B	01	D	A	β + γ 線量率	
	2							
	3							
	4							
	5							
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0204
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	CO2ボンベ(空) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/14 9:40	6 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	事務本館前			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICW	管理番号			
							F1-ICW-149			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0209
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-082
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/9/14 11:00	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0040					
作業主管理	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)													
	発生場所	5号機・6号機 T/B 2FL 空調機械室						2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10					
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
線量測定年月日	2018/9/7	測定者				測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-82					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
		①	②	③											
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.01	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.01	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無		
入 欄	3	難燃シート類	C	02	D	B	0.01	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無		
	4						m <sup>2</sup>								
	5						m <sup>2</sup>								
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0210
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
実 績 記 入 欄	1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:00	0.01	m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:00	0.01	m <sup>2</sup>			1
	3	1	難燃シート類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:00	0.01	m <sup>2</sup>			1
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																
モ																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0040			
作業主	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)											
	発生場所	5号機・6号機 T/B 2FL 空調機械室					2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10				
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL					
	元請会社				担当者			TEL					
線量測定年月日	2018/9/7		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-82	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		
記入欄	1	難燃シート類	C	02	D	B	0.01	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無
	2	不燃物その他(空調フィルタ)	B	10	D	A	2.5	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	4	μSv/h	無
	3	金属ガラ(ワイヤ・金具)	B	01	D	A	0.01	m <sup>2</sup>	0.5	μSv/h	0.5	μSv/h	無
	4							m <sup>2</sup>					
	5							m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	09	—	0211	2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月13日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
2	1	不燃物その他(空調フィルタ) ②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/9/13 10:15	2	m <sup>2</sup>			1
3	1	金属ガラ(ワイヤ・金具) ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/9/13 10:15	0.01	m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】							
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋			2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10		
	作業主管G	廃棄物設備グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-136		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	W B	2 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	不燃物その他	B 10	W B	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3	グラスウール	B 06	W B	0.1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0213
				2018/9/11
調整後保管日時		2018年9月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/14 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/14 10:30	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	グラスウール②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/14 10:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012903 - 0061			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	屋外仮設変圧器盤単独除却											
	発生場所	プロセス建屋内・外、3.4号機建屋内・外、共用プール屋外						2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7			
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL					
	元請会社					担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW β L-49			
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	ケーブルジョイントカバー				① ② ③	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	1 mSv/h		
	2	養生シート					1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	1 mSv/h		
	3	金属ガラ					2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	1 mSv/h		
4	コンクリートガラ					0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	1 mSv/h			
5	塩ビ板					0.1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	1 mSv/h			
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブルジョイントカバー		5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/9/12 10:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	養生シート		5 μSv/h	5 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/9/12 10:50	0.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	金属ガラ		5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/9/12 10:50	1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	コンクリートガラ		5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/9/12 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
	5	1	塩ビ板		5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/9/12 10:50	0.1 m <sup>2</sup>			1
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—				
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類					
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他					
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—				
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		D	伐採木										
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0061

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年9月13日	(木)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	屋外仮設変圧器盤単独除却									
	発生場所	プロセス建屋内・外、3.4号機建屋内・外、共用プール屋外			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7				
	作業主管G	所内電源グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	難燃合成樹脂可とう電線管	C	04	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	$\beta$ 有	1 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0215
				2018/9/11
調整後保管日時		2018年9月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃合成樹脂可とう電線管	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	80 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/9/13-10:05	15 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0061

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	屋外仮設変圧器盤単独除却																		
	発生場所	プロセス建屋内・外、3.4号機建屋内・外、共用プール屋外			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7													
	作業主管G	所内電源グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号													
							F1-ICW β L-9													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	ケーブル	B						08	D	A	3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0216
				2018/9/11
調整後保管日時		2018年9月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/14 10:10	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	処理水パッファタンク取替設工事									
	発生場所	処理水パッファタンクエリア内(GK-19)						2018/9/10	2018/9/10	2018/9/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/9/7		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	F1-ICWBL-114
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ(有筋)	B	02	D	A	10 m <sup>3</sup>	40 μSv/h	30 μSv/h	β有	50 μSv/h
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
Cヤード受入責任者より、1t土のうで持ち込むよう指示あり。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0219
				2018/9/11
調整後保管日時		2018年9月13日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ(有筋)	5 μSv/h	60 μSv/h	170 μSv/h	エリアW1	2018/9/13 10:55	10 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載。												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年9月14日	(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事							
	発生場所	3号 R/B 大物搬入口 西側			2018/9/11	2018/9/11	2018/9/11		
	作業主管G	設備電源グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
線量測定	線量測定年月日	2018/8/29	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	注1
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	制御盤 他	B 03	D A	0.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ケーブル屑 他	B 08	D B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
入欄	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 注1: リーICW-162 , F1-ICWBL-90								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0223
				2018/9/11
調整後保管日時		2018年9月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	制御盤 他 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/9/14 11:05	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ケーブル屑 他 ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2018/9/14 11:05	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010																																				
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月11日			(火)	8:00		承認	審査	作成																																				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																												
	発生場所	H6タンクエリア						2018/8/15	2018/8/15	2018/8/15																																				
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL																																					
	元請会社					担当者			TEL																																					
	線量測定年月日	2018/7/23		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号 1F-ICWBL-14																																				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																				
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無																																				
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無																																				
	3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無																																				
4						m <sup>2</sup>																																								
5						m <sup>2</sup>																																								
×	回収 GO-08西																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年9月11日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容					測定日	2018年9月11日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-158		2					3					4				
線量測定内容																																														
測定日	2018年9月11日																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																											
1		ICW	F1-ICW-158																																											
2																																														
3																																														
4																																														
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																		
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 8:40	0.8 m <sup>2</sup>			1																																		
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 8:40	1.5 m <sup>2</sup>			1																																		
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 8:40	0.4 m <sup>2</sup>			1																																		
									m <sup>2</sup>																																					
									m <sup>2</sup>																																					
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																													
	メ																																													
	モ																																													
	※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																
06					—	07	—	08	—	09	—	10	—																																	
B			不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																	
C			難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
D			伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																	
②			状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H6タンクエリア						2018/8/16	2018/8/16	2018/8/16		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL				
	元請会社					担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/23	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス類			A 01	D B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02	D B	2 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
	3	可燃物その他			A 04	D B	1 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
4						m <sup>2</sup>						
5						m <sup>2</sup>						
メモ	回収 GO-08西											

  

線量測定内容									
測定日	2018年9月12日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-158						
2									
3									
4									

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h									
1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:30	0.4	m <sup>2</sup>			1	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:30	0.5	m <sup>2</sup>			1	
3	1	可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:30	0.5	m <sup>2</sup>			1	
												m <sup>2</sup>				
												m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

  

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

固体廃棄物管理G記入欄 受付

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年9月11日		(火)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F--1~4号機 外周堰排水弁設置工事									
	発生場所	Dタンクエリア						2018/8/17	2018/8/16	2018/8/16	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
G	線量測定年月日	2018/8/8		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-26
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率		
	① ② ③										
	1	木材類	A	03	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	GT-19東にて回収をお願いします。										

受 付 番 号			
高2018	—	09	— 0007
調整後保管日時			2018年9月11日 10:30
【保管時の指示事項等】			
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年9月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 10:30	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 10:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.

6013704 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月10日		(月)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北、B、タンクエリア GS-23 南東					2018/8/28	2018/8/28	2018/8/28	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/8/24	測定者		測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-5	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	雑草			① A ② 04 ③ W A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
	巡回回収希望(GS-23南東)									

受付番号				2018/8/28
高2018	—	09	—	
調整後保管日時		2018年9月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	雑草	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 8:50	2.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月10日		(月)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/9/11	2018/9/11	2018/9/10		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221,14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180007)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	フランジタンク片天板(180033)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3	フランジタンク片天板(180027)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管

受付番号			
高2018	—	09	— 0024
調整後保管日時			2018年9月10日 13:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年9月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180007)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/10 11:30	21 m <sup>2</sup>		180007	1
	2	1	フランジタンク片天板(180033)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/10 11:30	21 m <sup>2</sup>		180033	1
	3	1	フランジタンク片天板(180027)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/10 11:30	21 m <sup>2</sup>		180027	1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013704 - 0018												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年9月11日		(火)		13:00		承認		審査		作成											
	作業件名		タンク減容・保管委託(H30)																					
	発生場所		定検機材倉庫A・B棟								2018/9/11		2018/9/11		2018/9/11									
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL													
	元請会社						担当者				TEL													
	線量測定年月日		2018/9/11		測定者				測定器名		F1-ICW,ICWBH		管理番号		221,14									
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率									
	1		フランジタンク片側板(180011)				21 m <sup>2</sup>		0.001 mSv/h		0.002 mSv/h		無											
	2		フランジタンク片天板(180029)				21 m <sup>2</sup>		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無											
	3		フランジタンク片天板(180006)				21 m <sup>2</sup>		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無											
4						m <sup>2</sup>																		
5						m <sup>2</sup>																		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		フランジタンク片側板(180011)		1 μSv/h		1 μSv/h		1 μSv/h		エリアAA		2018/9/11 11:00		21 m <sup>2</sup>				180011		1	
	2		1		フランジタンク片天板(180029)		1 μSv/h		1 μSv/h		1 μSv/h		エリアAA		2018/9/11 11:00		21 m <sup>2</sup>				180029		1	
	3		1		フランジタンク片天板(180006)		1 μSv/h		1 μSv/h		1 μSv/h		エリアAA		2018/9/11 12:10		21 m <sup>2</sup>				180006		1	
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ																							
	モ																							
	※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類				02 プラスチック・ポリ・ビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05 -		
06 -						07 -				08 -				09 -				10 -						
B 不燃物				01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類				
				06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他				
				11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 -				14 -				15 -				
C 難燃物				01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 -				
				D 伐採木		01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 -				04 -				05 -		
② 状 態						D:乾燥, W:湿気有				③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」												
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																								



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月12日	(水)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟			2018/9/14	2018/9/14	2018/9/13			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221,14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	フランジタンク側板(180019)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0026
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月12日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク側板(180019)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2018/9/12 11:45	21 m <sup>2</sup>		180019	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴				
				A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	13:00		承認	審査	作成
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)							
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟						2018/9/13	2018/9/13
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/9/13	測定者			測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221,14
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③					β+γ 線量率
1	フランジタンク片天板(180017)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2	フランジタンク片天板(180031)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0027
調整後保管日時				2018年9月13日 13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180017)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/13 11:20	21 m <sup>2</sup>		180017	1
	2	1	フランジタンク片天板(180031)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/13 11:20	21 m <sup>2</sup>		180031	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月14日		(金)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟						2018/9/14	2018/9/14	2018/9/14	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/14	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221.14			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180028)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	50 mSv/h
	2	フランジタンク片天板(180005)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
×	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。No.01⇒Pエリア No.02⇒AAエリア										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0028
調整後保管日時				2018年9月14日 13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180028)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/9/14 10:40	21 m <sup>2</sup>		180028	1
	2	1	フランジタンク片天板(180005)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/14 11:20	21 m <sup>2</sup>		180005	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
×	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0004

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月10日	(月)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	高台炉注バフファタンクリリースに伴う電源設備移設					
	発生場所	事務本館東側(炉注設備エリア) (GT-20中央)			2018/8/29	2018/8/28	2018/8/28
	作業主管G	設備電源グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
線量測定年月日	2018/8/3	測定者			測定器名	電気箱サーベイメータ	管理番号
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	エフレックス管	C	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h
2						m <sup>2</sup>	
3						m <sup>2</sup>	
4						m <sup>2</sup>	
5						m <sup>2</sup>	
回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0035
				2018/8/29
調整後保管日時		2018年9月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス管 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 10:00	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月11日		(火)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事										
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)						2018/8/29	2018/8/29	2018/8/29		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/8/22	測定者			測定器名	ICW		管理番号	FI-ICW-360		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	土のう袋他			A	04	D	B	3 m <sup>3</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
2	木材類			A	03	D	B	2 m <sup>3</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
3								m <sup>3</sup>				
4								m <sup>3</sup>				
5								m <sup>3</sup>				
回収												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0042
				2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土のう袋他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 8:30	2.7 m <sup>3</sup>			1
	2	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 8:30	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月14日		(金)	8:00		承認	審査	作成											
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事																		
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)						2018/8/29	2018/8/29											
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
	線量測定年月日	2018/8/23	測定者			測定器名	ICW		管理番号											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・γ 汚染の有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	D	B	3	m <sup>2</sup>	50	μSv/h	50	μSv/h	無	
		2	紙・ウエス類	A						01	D	B	2	m <sup>2</sup>	50	μSv/h	50	μSv/h	無	
		3												m <sup>2</sup>						
		4												m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>													
回収																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0043
調整後保管日時				2018年9月14日
				8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 8:15	3.7 m <sup>2</sup>			1
	1	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 8:15	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/14 8:15	0.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001						
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月10日		(月)	9:30		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									受付番号					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/8/30	2018/8/30	2018/8/29	高2018	—	09	—	0045	2018/8/30
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL			調整後保管日時		2018年9月10日	9:30	
	元請会社					担当者			TEL			【保管時の指示事項等】				
	線量測定年月日	2018/8/29	測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	031		発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	1	紙類	A	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無						
	2						m <sup>2</sup>									
	3						m <sup>2</sup>									
4						m <sup>2</sup>										
5						m <sup>2</sup>										
メモ	回収															

  

線量測定内容											
測定日	2018年9月10日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 9:20	5 m <sup>2</sup>				1
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月10日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/8/30	2018/8/30	2018/8/29			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/8/29	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙類	A	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
×	回収									
モ										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0046
				2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 9:20	3.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

×	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月11日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/8/30	2018/8/30	2018/8/29			
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/8/29	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	031		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	段ボール	A	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
回収										

受 付 番 号			
高2018	—	09	— 0047
			2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月11日	
		9:30	
【保管時の指示事項等】			
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年9月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	段ボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 9:40	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6010112 - 0001												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年9月11日			(火)		10:00		承認		審査		作成										
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																					
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/8/30		2018/8/30		2018/8/29											
	作業主管G		総務グループ				監理員				TEL													
	元請会社						担当者				TEL													
	線量測定年月日		2018/8/29		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号		031									
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率								
	1		プラスチック類			A 02 D A		3 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h		無										
	2		段ボール			A 01 D A		2 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h		無										
	3							m <sup>2</sup>																
4							m <sup>2</sup>																	
5							m <sup>2</sup>																	
回収																								
<div> <div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年9月11日</div> </div> <div> <div>10:00</div> </div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。</div> </div> </div>														<div> <div>受 付 番 号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>09</div> <div>—</div> <div>0048</div> </div> <div>2018/8/30</div> </div>										
<div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年9月11日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> </div>																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		プラスチック類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2018/9/11 9:40		2.8 m <sup>2</sup>						1	
	2		1		段ボール		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2018/9/11 9:40		1.7 m <sup>2</sup>						1	
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
																	m <sup>2</sup>							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
<div> <div>※カテゴリ</div> <div> <div>①</div> <div> <div>A 可燃物</div> <div> <div>01 紙・ウエス類</div> <div>02 プラスチック・ポリ・ビニール類</div> <div>03 木材類</div> <div>04 可燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> </div> <div> <div>B 不燃物</div> <div> <div>06 —</div> <div>07 —</div> <div>08 —</div> <div>09 —</div> <div>10 —</div> </div> </div> <div> <div>C 難燃物</div> <div> <div>01 金属ガラ</div> <div>02 コンクリートガラ</div> <div>03 機器類・制御盤類</div> <div>04 土砂類</div> <div>05 塩化ビニール類</div> </div> </div> <div> <div>D 伐採木</div> <div> <div>06 保温材</div> <div>07 石綿含有物</div> <div>08 ケーブル類</div> <div>09 アスファルトガラ</div> <div>10 不燃物その他</div> </div> </div> <div> <div>11 フランジタンク本体</div> <div>12 フランジタンク付属品</div> <div>13 —</div> <div>14 —</div> <div>15 —</div> </div> </div> <div> <div>②</div> <div> <div>C 難燃物</div> <div> <div>01 ゴム類</div> <div>02 難燃シート類</div> <div>03 ホース類</div> <div>04 難燃物その他</div> <div>05 —</div> </div> </div> <div> <div>D 伐採木</div> <div> <div>01 伐採木(幹・根)</div> <div>02 伐採木(枝・葉)</div> <div>03 —</div> <div>04 —</div> <div>05 —</div> </div> </div> </div> <div> <div>③</div> <div> <div>状態</div> <div>D:乾燥, W:湿気有</div> <div>履歴</div> <div>A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</div> </div> </div> </div>																								
<div> <div>注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</div> <div>注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</div> <div>注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。</div> </div>																								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年9月12日	(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/8/30	2018/8/30	2018/8/29	
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/8/29	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	
							031	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
	1	ビニール類	A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	4 $\mu$ Sv/h
	2						m <sup>3</sup>	
3						m <sup>3</sup>		
4						m <sup>3</sup>		
5						m <sup>3</sup>		
メ モ	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0049
				2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:30	4.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/8/30	2018/8/30	2018/8/29	
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/8/29	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	031		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ペットボトル	A	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
メ モ	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0050
				2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
メ モ	1	1	ペットボトル	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:30	5 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月11日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	#1ガレキ撤去工事								
	発生場所	回収場所：鉄塔ヤード(GP-22北)						2018/9/4	2018/9/4	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/9/3	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-97	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
2	可燃物:木材類	A	03	W	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	可燃物:可燃物その他(つるしんぼう他)	A	04	W	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4	難燃物:難燃シート類(ピンクシート)	C	02	W	B	0.02 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>				
メモ	1) 透明袋内部 結露してます。 2) 巡回回収場所:鉄塔ヤード(GP-22北)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0058
				2018/9/4
調整後保管日時		2018年9月11日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 9:20	0.7 m <sup>2</sup>			1
	2	1	可燃物:木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 9:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物:可燃物その他(つるしんぼう他)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 9:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	難燃物:難燃シート類(ピンクシート)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/11 9:20	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有											
				③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
		④	備 考			A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
⑤	備 考			A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」											

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	10:30		承認	審査	作成					
	作業件名	福島第一原子力発電所 免震重要棟休憩所他の放射線管理業務												
	発生場所	免震重要棟前プレハブ休憩所 (GM-20 中央)						2018/9/4	2018/9/3	2018/9/3				
	作業主管G	作業環境改善グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/7/24		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-87			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率				
			①	②	③									
	1	スミアろ紙、ダストろ紙、書類	A	01	D	B	2	m <sup>2</sup>	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	無	
	2	個人下着	A	04	D	B	1	m <sup>2</sup>	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	無		
4	ダンボール	A	01	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	15	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	無		
5							m <sup>2</sup>							
メ モ	回収													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0062
				2018/9/4
調整後保管日時		2018年9月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	スミアろ紙、ダストろ紙、書類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 10:30	0.3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	個人下着	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 10:30	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所 免震重要棟休憩所他の放射線管理業務								
	発生場所	免震重要棟前プレハブ休憩所 (GM-20 中央)					2018/9/4	2018/9/4	2018/9/4	
	作業主管G	作業環境改善グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/24	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-87		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	プラゴミ、ビニル袋	A	02	D	B	4 m <sup>3</sup>	15 μSv/h	15 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0063
				2018/9/4
調整後保管日時		2018年9月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラゴミ、ビニル袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 10:30	1.1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0194

作業主 管 入 欄	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	モバイル配管除却							
	発生場所	モバイルキュリオンエリア近傍					2018/9/5	2018/9/5	2018/9/5
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/8/1	測定者		測定器名	F1-ICWBL-5	管理番号	F1-ICWBL-5	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D A	4 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	木材類	A 03	D A	1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3				m <sup>2</sup>					
4				m <sup>2</sup>					
5				m <sup>2</sup>					
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 場所標準グリットGS-24 GT-24								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0066
				2018/9/5
調整後保管日時		2018年9月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:15	0.9 m <sup>2</sup>			1
	2	1	木材類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:15	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0194					
作業主	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	8:30		承認	審査	作成						
	作業件名	モバイル配管除却													
	発生場所	モバイルキュリオンエリア近傍					2018/9/5	2018/9/5	2018/9/5						
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL								
	元請会社				担当者		TEL								
管	線量測定年月日	2018/8/1		測定者			測定器名	F1-ICWBL-5		管理番号	F1-ICWBL-5				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
					①	②		③							
1	木材類			A	03	D	A	1	m <sup>3</sup>	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
2	紙・ウエス類			A	01	D	A	4	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
3									m <sup>2</sup>						
4									m <sup>2</sup>						
5									m <sup>2</sup>						
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 場所標準グリットGS-24 GT-24														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	09	—	0067	2018/9/5
調整後保管日時		2018年9月12日		8:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします					

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	木材類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:15	3	m <sup>3</sup>			1
2	1	紙・ウエス類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 9:15	0.8	m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業主管理	保管希望日時	2018年9月10日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	6号機 タービン建屋地下2階					2018/9/5	2018/9/5	2018/9/5	
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/8/24	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-123		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
3	難燃物(難燃シート)	C	02	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
※	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									
モ	巡回回収 GK-15(6号機 R/B 大物搬入口前)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0070
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙・ウエス類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	可燃物(ビニール類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 11:00	0.05 m <sup>2</sup>			1
	3	1	難燃物(難燃シート)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
※	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月10日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】								
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋					2018/9/5	2018/9/5	2018/9/5	
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者		測定器名	ICW BL		管理番号	F1-ICWBL-136	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
	1	ダンボール	A 01	W B	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	2	ビニールシート	A 02	W B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	3	ゴムパッキン	C 01	W B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	4	ピンクシート	C 02	W B	0.5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無		
	5				m <sup>2</sup>					
メ モ	回収希望 巡回回収場所: GL-13東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0071
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 10:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ビニールシート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 10:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ゴムパッキン	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 10:30	0.3 m <sup>2</sup>			1
	4	1	ピンクシート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/10 10:30	0.3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
		01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6012802 - 0008																																
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年9月13日				(木)		10:30				承認		審査		作成																																
	作業件名		焼却設備炉関係定期点検工事【定例】																																														
	発生場所		雑固体廃棄物焼却設備建屋												2018/9/5		2018/9/5		2018/9/5																														
	作業主管G		廃棄物設備グループ				監理員				TEL																																						
	元請会社						担当者				TEL																																						
	線量測定年月日		2018/9/4		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-136																																		
	No.		※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率																																		
	1		ウエス・紙・キムタオル・段ボール				4 m <sup>2</sup>		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無																																				
	2		プラスチック・ポリ・ビニール類				1 m <sup>2</sup>		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無																																				
	3						m <sup>2</sup>																																										
4						m <sup>2</sup>																																											
5						m <sup>2</sup>																																											
回収希望 巡回回収場所: GL-13東																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年9月13日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>															線量測定内容					測定日	2018年9月13日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-158		2					3					4				
線量測定内容																																																	
測定日	2018年9月13日																																																
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																														
1		ICW	F1-ICW-158																																														
2																																																	
3																																																	
4																																																	
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																										
	1		1		ウエス・紙・キムタオル・段ボール		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2018/9/13 10:30		2 m <sup>2</sup>						1																										
	2		1		プラスチック・ポリ・ビニール類		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアV(瓦礫類)		2018/9/13 10:30		1 m <sup>2</sup>						1																										
																	m <sup>2</sup>																																
																	m <sup>2</sup>																																
																	m <sup>2</sup>																																
																	m <sup>2</sup>																																
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																
	メ モ																																																
	※ カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類				02 プラスチック・ポリ・ビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05				—																							
06 —						07 —				08 —				09 —				10 —																															
B 不燃物				01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類																													
				06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他																													
				11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 —				14 —				15 —																													
C 難燃物				01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 —																													
				D 伐採木		01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 —				04 —				05 —																											
② 状 態						D:乾燥, W:湿気有				③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																	

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8012802 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】									
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/9/5	2018/9/5		
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-136		
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ゴムパッキン				①	C 01 W B	1 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2	難燃シート				②	C 02 W B	3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3							m <sup>2</sup>				
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				
メモ	回収希望 巡回回収場所: GL-13東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0073
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴムパッキン	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:30	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:30	2.5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		B	不 燃 物	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履 歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】									
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/9/5	2018/9/5	2018/9/5	
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/4	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-136	
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メ モ	回収希望 巡回回収場所: GL-13東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0074
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 10:30	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年9月12日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンク盛土上(GK30の南)					2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2018/9/3	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	改良材空袋	A	04	D	B	4 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メモ	巡回回収場所: GK-30南									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0079
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	改良材空袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:20	3.4 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:20	0.6 m <sup>3</sup>			1
	3	1	紙・ダンボール・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/12 8:20	0.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事							
	発生場所	エリアA2						2018/9/6	2018/9/6
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/9/3	測定者			測定器名	ICW		管理番号
							F1-ICW-151		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	可燃物その他	A	04	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
巡回回収場所: GK-06									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	09	—	0085
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 8:40	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事								
	発生場所	エリアA2						2018/9/6	2018/9/6	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/9/3	測定者			測定器名	ICW		管理番号	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
	1	可燃物その他	A	04	D	B	5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	巡回回収場所: GK-06									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0086
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 8:40	3.4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月13日		(木)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事									
	発生場所	エリアA2						2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/3	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-151	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃物その他	A	04	D	B	4 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
巡回回収場所: GK-06											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0087
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/13 8:40	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。